

業務の実績に関する評価結果の反映状況一覧

公立大学法人国際教養大学の令和元年度評価結果の反映状況

令和元年度評価における指摘事項	評価項目	令和2年度の業務運営等への反映状況
<p>グローバル・セミナー入試の定員の拡充等の見直しは評価されるものの、県内出身入学者数が未達成となっており、県内出身入学者数の増加に向けた更なる努力が求められる。</p>	<p>I-2-(1)</p>	<p>○グローバル・セミナー入試の強化 令和元年度から定員を5名拡大して実施している県内高校生対象のグローバル・セミナー入試について、オンラインを活用した大学説明会で制度説明を行ったほか、高校訪問やグローバル・セミナー「オンライン1-DAYセミナー」において入試の実施方法等に係る周知に取り組んだ。その結果、定員15名に対し50名が出願し、23名が合格・入学した。</p> <p>○広報活動の強化 秋田空港での広告掲出を通じて本学のブランドイメージや認知度向上を図ったほか、秋田駅東西連絡自由通路での広告スペースを活用して、受験者層をターゲットとしたメッセージ性のある広告やオープンキャンパスの案内等を掲出した。また、令和3年度施行の新カリキュラムを告知する広告看板を秋田駅及び秋田空港に新たに設置し、県内での認知度向上と潜在的な志願者の増加を図った。</p> <p>○アドミッション・オフィサー活動の強化 アドミッション・オフィサーが県内高校を訪問してPRを行った中で、面談をした3年生5名のうち、3名がグローバル・セミナー入試で合格し、入学した。アドミッション・オフィサー活動で3名が入学したのは過去最高の実績である。</p> <p>令和3年度4月には、上述のグローバル・セミナー入試による23名のほか、学校推薦型入試による1名、一般選抜試験による2名を合わせ、合計26名の秋田県出身学生が入学した。また、特別科目等履修生のうち、県内出身者1名が正規生として2年次に編入した。</p>
<p>広報活動の強化等に取り組んでいるものの、大学院全体では定員を満たしておらず、引き続き大学院学生の確保に向けた更なる努力が求められる。</p>	<p>I-2-(3)</p>	<p>○大学院説明会、個別説明会の実施 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、オンラインを活用して説明会（参加者29名）や個別相談（参加者105名）を実施した。</p> <p>○現職教員の受入れ 英語教育実践領域において、秋田県教育委員会から現職教員1名が派遣され入学したほか、令和元年度に奈良県と締結した連携協定に基づき、同県から現職教員1名が入学した。また、必修科目である「言語教育実践研究概論」を土曜日に提供するなど、社会人に配慮して授業開講日の調整を行った。</p> <p>○広報活動の強化 大学院のパンフレットについては、引き続き、日英両言語併記で作成・発行し、資料請求者や本学大学院の専門分野と関連する分野の学部を持つ他大学の関係教員に送付する等、広報活動に努めた。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により関係他大学への訪問やポスター掲示が困難となったことから、代替手段として新たにFacebook広告を掲出した結果、延べ204万ユーザにリーチし24,000以上の大学ウェブサイトへのアクセスを誘導した。</p> <p>上記の取組により、令和2年度に実施した選考における出願者34名のうち、令和3年度に30名（4月入学13名、9月入学17名予定）が入学し、入学定員30名を充足する見込みである。これは、平成30年度以来2度目となる。また、令和3年度春選考での合格者を加え、同年9月には、当該専門職大学院の設置から初めて、収容定員60名を充足する見込みである。</p>